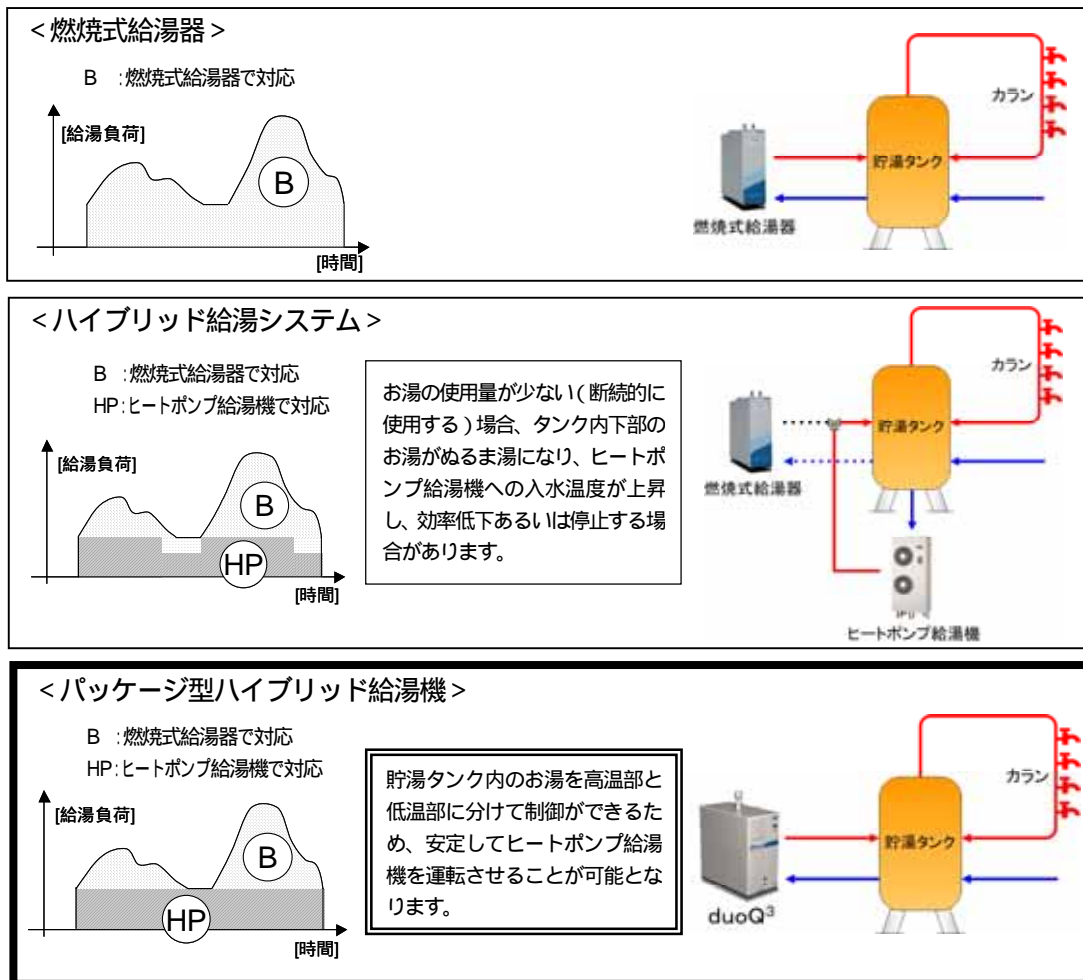


パッケージ型ハイブリッド給湯機「duoQ³（デュオキューブ）」の主な特長

燃焼式給湯器のみのシステムと比べてCO₂排出量を約28%削減

本製品は、給湯のベース負荷をヒートポンプ給湯機の運転、お客さまのお湯のご使用状況に応じたピーク負荷を燃焼式給湯器の運転でまかさないです。運転制御を最適化することにより、ヒートポンプ給湯機の稼働時間を最大限高めることが出来るため、同容量の燃焼式給湯器のみのシステムと比べて、CO₂排出量を約28%削減することが可能です。



給湯負荷処理イメージとシステム構築イメージの比較

ヒートポンプ給湯機と燃焼式給湯器の2つの機器を1つのケーシング内に収納して導入時の設計・施工の簡素化を実現
 本製品は、ヒートポンプ給湯機、燃焼式給湯器、制御盤、その他循環ポンプなどの補器類全てを1つのケーシング内に収納しておりますので、導入時の配管接続は出入口2箇所のみで施工が完了します。また、現状設備の貯湯タンクをそのまま使用することが可能です。

複数台連結設置により幅広い給湯使用量に対応可能

本製品は、複数台連結設置（最大5台設置）することで、1日の給湯使用量約10～50トン（ビジネスホテルでは50～250室、病院・福祉施設では50～250床）までのお客さまに幅広く対応することが可能です。

以上